Dell Precisionワークステーションで生成AIのパワーを引き出す

生成AIは今まさに旬のテクノロジーです。規模を問わず、あらゆる企業の効率を高め、新たなビジネス チャンスの扉を開いています。

実社会における生成AIの使用率はすでに90%近くに達し、その可能性には大きな期待が寄せられています*。

アプリケーション用途のトップはコア生産性とコンテンツ作成です。ソフトウェアコーディングなどの他の用途も、業界によっては大きな可能性を秘めています*。

多くの組織はハイブリッド生成AIアーキテクチャの導入に前向きで、カスタムデータの活用を不可欠な要素と考えています*。

*出典：Technalysisによる調査レポート『A New Beginning: Generative AI in the Enterprise』（2023年5月）

生成AIソリューション用のワークステーションの導入を検討すべきタイミング

生成AIワークロードの処理にサーバーとワークステーションのどちらを選択すべきかは、用途、必要なパフォーマンス、予算、環境などのさまざまな要因や、AIの導入状況によって決まります。

場合によっては、大規模な言語モデルのために両方が必要になることもあります。

Dell Precisionデータ サイエンス ワークステーションには、次のような特長があります。

- 1台のワークステーションに最大**4基のNVIDIA RTX 6000 Ada世代GPU**を搭載可能で、旧世代のモデルよりも**最大80%高速***
- サンドボックス環境の作成と**安全なローカル環境での制御**が可能で、組織のAI開発と導入のコストを抑えられる
- データセンターへの拡張を行う前に、**プロジェクトをデスク サイドにオフロード**して、データ戦略のバランスを確保できる
- **データセンターのサーバーを解放**し、ミッションクリティカルなタスクに集中的に割り当てられる

詳細については、こちらをクリックするか、Dellの担当者までお問い合わせください。

*インテルi9-12900K、64GB RAM、Windows 11 Enterprise x64、NVIDIAドライバー526.99で実行したテストに基づく。テスト スコアは、PyTorch GNMT V2 Trainingテスト スコアの相対的なパフォーマンスです。本番稼働前のハードウェアおよびソフトウェアによる予備的なテスト結果です。最終的なパフォーマンスは異なる場合があります。